

日本緑化工学会 乾燥地緑化研究部会 第18回シンポジウム 「乾燥地の生態系とその課題」

2. アフリカ・ナミブ砂漠の自然と保全

日時 : 平成25年2月9日(土) 13:00より
場所 : 東京都市大学横浜キャンパス情報基盤センター2階プレゼンテーションラボ
(横浜市都筑区牛久保西 <http://www.yu.tcu.ac.jp/access/index.html>)
主催 : 日本緑化工学会乾燥地緑化研究部会

講演

- 13:00~13:10 開会のあいさつ 吉川 賢(岡山大学大学院環境生命科学研究科)
- 13:10~14:00 (45分間講演、5分間質疑)
アフリカナミビアの半乾燥地におけるサバンナ植生景観の違いをもたらす要因と牧畜業への影響
沖津 進 (千葉大学園芸学部・教授)
- 14:00~14:50 (45分間講演、5分間質疑)
ナミブ砂漠周辺における植生衰退と地形・地質条件
山縣耕太郎 (上越教育大学学校教育学部・准教授)
- 14:50~15:00 休憩
- 15:00~15:50 (45分間講演、5分間質疑)
ナミブ砂漠の自然環境と植生の変化
水野 一晴 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科・准教授)
- 15:50~16:00 休憩
- 16:00~17:00 質疑応答と総合討論
(コーディネーター: 山中 典和 (鳥取大学乾燥地研究センター))

世界各地の乾燥地において進行している生態系の劣化(砂漠化)は、砂嵐の発生や温暖化の促進を通して農業生産に多大な影響を与えています。これらの生態系劣化に歯止めをかけるためには砂漠化土地の修復とその利用が持続的に行われる為の方策を考えなければなりません。そこで、本シンポジウムでは世界各地の乾燥地を取り上げて、それぞれの生態系の特徴や課題についての知見を共有し、砂漠化土地の課題と対策を考えるために、「乾燥地の生態系とその課題」というテーマで、シンポジウムを続けています。今回は、アフリカ南部のナミブ砂漠を取り上げて、話題提供を頂きます。乾燥地にもそれぞれ特徴があり、個性があることが分かることで、乾燥地生態系の保全・修復やその持続的利用のための新しい展望が見えてくるのではないかと期待しております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

連絡先

吉川 賢	岡山大学大学院環境生命科学研究科 (電話 086-251-8376) E-mail: kenchan@cc.okayama-u.ac.jp	山中典和	鳥取大学乾燥地研究センター (電話 0857-21-7039) E-mail: yamanaka@alrc.tottori-u.ac.jp
吉崎真司	東京都市大学環境情報学部 (電話 045-910-2556) E-mail: shin@tcu.ac.jp	三木直子	岡山大学大学院環境生命科学研究科 (電話 086-251-8377) E-mail: miki@cc.okayama-u.ac.jp